

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	利用者全員の自由の確保や、閉鎖された空間での生活を開放するためにも、なぜ立ち上がろうとするのか等を、職員間で話し合い共有し、その結果に応じた見守りを徹底し、開錠の機会を作してほしい。	關鍵時間の確保及び、散歩等の時間を確保する事での閉鎖感の軽減を図る。	個々の利用者様のアセスメントの再実施を行い、利用者様の立場にたったプランを作成し、日々のケアを取り組んでいく。	3ヶ月
2	36(14)	利用者それぞれの特徴を場面毎に理解し、支援に活かしてほしい。職員主導にならないよう、利用者本位の支援について、話し合ってみてはいかがか。	利用者様の自立支援に力を入れ取り組み、個々の利用者様が主役となれるよう取り組む。	職員は環境の一部である事を再認識し、アセスメント、プランを作成し利用者様の自立支援に向けて取り組む。	3ヶ月
3	45(17)	事業所の都合ではなく、利用者の選択の機会を確保するために、前日入浴した人にも入浴できることを伝え、希望があれば支援をしてほしい。	利用者様の自己決定を尊重できる機会を確保し、尊厳を保った生活が送れるよう支援する。	毎日声掛けを行う事で、利用者様が選択できる機会の確保を行う。	1ヶ月
4	49(18)	車いすの人及び歩行可能な人、すべての利用者の状態に応じて、日常的に外出や散歩のできる機会を工夫してはいかがか。	外出や散歩を取り入れる事により、利用者様が季節感を感じ、閉塞間を感じる事のないように取り組む。	会議等で話し合い、日々の業務の一環として、散歩等を取り入れる。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。